

平成 30 年度における主な富山県のがん対策事業について

I 予防の強化と早期発見の推進

1. がんにかからない生活習慣の確立

(1) ⑧「健康経営」普及支援事業

従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」の普及支援を展開するため、モデル企業の取り組み内容を紹介する番組制作を行うもの。



273 社
(H30.10.31 現在)

(2) ⑨ウォークビズとやま県民運動推進事業

職場を身近な運動環境と捉え、スニーカーなど歩きやすい靴や服装で通勤・就業する「ウォークビズ」スタイルを普及させるためのお披露目会の開催やPRポスター等を作成。



(3) 生活習慣改善ヘルスアップ（健康合宿）事業

食事や運動の体験を通じて、生活習慣の改善の意識を高める1泊2日の健康合宿の開催を支援するもの。(⑩ 県支援分3回+補助事業者自主分6回以上=計9回以上)

【参考（これまでの成果）】合宿終了3ヶ月後の参加者の体重・腹囲の変化

- ⑦ 体重△3.0kg・腹囲△4.8cm ※3ヶ月後アンケート回答者(31名)の平均(参加者数31名(定員30名))
 ⑧ 体重△1.2kg・腹囲△6.8cm ※ 〃(体重53名、腹囲23名)の平均(参加者数77名(定員90名))
 ⑨ 体重△1.0kg・腹囲△0.5cm ※ 〃(体重99名、腹囲64名)の平均(参加者数148名(定員180名))
 ⑩ (体重・腹囲の変化は現在、集計中) (参加者数39名(定員45名))※
 ※県支援3日分の参加者・定員数

(4) 第7回健康寿命をのぼそう！アワード（厚生労働省・スポーツ庁）の受賞

平成30年11月19日に、本県の「健康寿命日本一」を目指す取り組みが、新設された「スポーツ庁長官 優秀賞」を受賞。

- ・本県では、平成28年に「県健康寿命日本一推進会議」を平成28年に設置して県全体での健康づくりに向けた機運醸成を図り、運動習慣の定着や学校や家庭における食生活の改善に向けた取り組みを総合的に推進。
- ・今年3月で公表された平成28年の健康寿命は、前回の平成25年と比べ、男性は1.63歳伸びて72.58歳、女性は1.01歳伸びて75.77歳となり、全国順位は男性8位（前回31位）、女性4位（前回14位）と大幅に上昇。

(5) たばこ対策

①禁煙及び受動喫煙防止に関する普及啓発

(a) 世界禁煙デー街頭啓発キャンペーン

日 時：5月31日(木) 7:30頃～

場 所：富山駅南口

内 容：「がん対策の推進に関する協定」締結

企業(H30.10月時点17社)と連携し、普及啓発物品(ティッシュ)

ユ)の配布等を実施



(b) 普及啓発物品の貸出し・配布

- ・タペストリー(世界禁煙デー、受動喫煙防止、受動喫煙防止ステッカー紹介)
- ・のぼり旗
- ・ビブス
- ・禁煙および受動喫煙防止リーフレット

(c) 事業主を対象にしたセミナーの開催

②大学生と協働した喫煙防止の取組(No Smoking Campusプロジェクト)

(a) 実施大学：富山大学(H26～)、県立大学(H27～)、富山国際大学(H28～)
高岡法科大学(H29～)、富山大学(H30)

(b) 内 容：プロジェクトメンバー養成研修会の開催(県実施)、大学生によるプロジェクトの展開
※大学構内での禁煙キャンペーン、大学祭でのブース設置等



③受動喫煙防止推進施設への支援

受動喫煙防止対策に取り組む施設等への受動喫煙防止ステッカーの配布

<配布施設数>

H24年度	53施設	489枚
H25年度	88施設	724枚
H26年度	105施設	681枚
H27年度	126施設	902枚
H28年度	96施設	783枚
H29年度	74施設	610枚



④禁煙治療に保険が使える県内医療機関の紹介

県健康課ホームページにより紹介(NPO法人日本禁煙学会ホームページへのリンク)

⑤健康増進法改正への対応

健康増進法の一部を改正する法律が平成30年7月25日に公布されたことに伴い、今後、法的な義務となる受動喫煙防止に係る具体の対応等について国から情報収集を行い、また、県内の関係機関に対して、適宜、情報提供を行っている。

(6) 肝炎対策

①肝炎ウイルス検査の実施

市町村における肝炎ウイルス検査（40歳以上の方が対象）に加えて、県厚生センター・支所（8箇所）や県委託医療機関33箇所*においても肝炎ウイルス検査を実施。

※県厚生センター・支所、県委託医療機関における肝炎ウイルス検査は、自覚症状等により肝炎ウイルスの感染に不安を持っている場合に受検できるもの（原則20歳から受検可能）

②肝炎ウイルス検査等の普及啓発（厚生労働省肝炎総合対策推進国民運動事業「知って、肝炎プロジェクト」）

厚生労働省肝炎総合対策推進国民運動事業「知って、肝炎プロジェクト」とは、肝炎に関する知識や肝炎ウイルス検査の必要性をわかりやすく国民に伝えることで、早期発見・早期治療に向けた行動を促すことを目的として、効果的な情報発信や民間企業との連携を通じた肝炎対策を展開し、国民運動として肝炎総合対策を推進する国の事業であり、今年度は本県が同プロジェクトを特に集中して広報活動を行う集中広報県として指定されたことにより、以下の取組みが実施された。

(a) 富山グラウジーズホームアリーナ（富山市総合体育館）での啓発活動

10月21日（日）に、「知って、肝炎プロジェクト」のスペシャルサポーターである①岩本輝雄氏と②高橋みなみ氏の2名がB.LEAGUE所属のプロバスケットボールチーム富山グラウジーズの試合に訪問され、啓発活動が実施された。



(b) 肝炎プロジェクト特別大使 伍代夏子氏による知事表敬

11月15日（木）に、「知って、肝炎プロジェクト」肝炎対策特別大使である伍代夏子氏が知事を表敬訪問され、同プロジェクト推進のメッセージ伝達等が行われた。

※肝炎診療に係る関係者として、以下の3名の先生方にご出席いただいた。

- ①富山県済生会高岡病院（県肝炎診療協議会会長）院長 野田 八嗣 先生
- ②富山県立中央病院（肝疾患診療連携拠点病院）院長 清水 康一 先生
- ③富山県医師会 常任理事（県肝炎診療協議会委員）堀地医院 院長 堀地 肇 先生



2. がんの早期発見体制の強化

(1) がん検診受診に関する普及啓発

① 胃がん検診啓発用リーフレットの作成

本県の罹患割合は胃がんの割合が高い※1が、市町村の胃がん検診受診率※2は5つの部位の中で最も低い状況である。そのため、胃がん検診啓発用のリーフレットを新たに作成した



もの。

※1：胃がんの罹患割合（平成25年）：男性19.8%（1位）・女性13.6%（2位）

※2：市町村の胃がん検診受診率（平成28年度）：20.9%

（リーフレット配布先）

市町村、厚生センター、がん診療連携拠点病院、県がん総合相談支援センター、検診機関等

○啓発イベントの実施

各種のイベントを活用した啓発キャンペーンを実施

① 春（検診開始時期）

例年、街頭キャンペーンを実施している「世界禁煙デー」に併せて、各市町村と連携したがん検診普及啓発を実施



日時：平成30年5月31日（木）（世界禁煙デー） 7:30～8:30（県）

場所：（県）富山駅南口

（各市町村）駅やショッピングセンター等、PRが効果的に実施できる場所

内容：駅や店舗入口でのティッシュ等の配布、のぼり旗による啓発等

※H30年度は、希望のあった12市町村へ啓発物品の提供等の支援を実施

② 秋（がん征圧月間～ピンクリボン月間）

「越中とやま食の王国フェスタ2018秋の陣」において、がん検診啓発用ブースを設置して普及啓発を実施

日時：平成30年10月27日（土）28日（日）

場所：テクノホール（富山産業展示館）

内容：がん検診啓発ブースを設置し、乳房触診モデルの展示やがん検診啓発DVDの放映がん検診啓発物品の配布など



(2) 職域におけるがん検診受診率向上のための取組み

①心と体の健康づくりトップセミナーの開催

昨今、従業員の心や体の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の普及が進んでいることに際し、企業の経営者や人事労務・健康管理推進担当者を対象として、従業員のメンタルヘルス対策や職場のがん対策を促進するためのセミナーを開催した。

日 時：平成30年9月8日（土）13:30～16:10（開場 13:00）

場 所：タワー111 3F スカイホール

参加者：企業の経営者や人事労務・健康管理推進担当者 等 250名

内 容：①講演 「いきいきと働くためのメンタルヘルス対策～心の健康を保つためのコミュニケーションとは～」
香山 リカ 氏（精神科医・立教大学現代心理学部教授）

② 「「職場におけるがん対策～がんから社員を守る～」

中川 恵一 氏（東京大学医学部放射線医学教室准教授、放射線治療部門長）

香山 リカ 氏 講演時の様子



中川 恵一 氏 講演時の様子



②がん検診受診率向上出前セミナーの実施

健康経営を念頭においた企業のがん検診受診率向上を目指し、企業が従業員を対象としたセミナーを開催する際に県が講師を派遣し、企業におけるがん対策の推進を図るもの。

※講演テーマは、①医師による予防や治療に関する講演、②各がん種の専門医による講演（胃、肺、大腸、乳、子宮）、③がん経験者やその家族による講演、以上の3つから選択

○がん予防推進員による普及啓発

「がん対策の推進に関する協定」締結企業（17社）の社員でがん検診の重要性をPRするがん予防推進員を養成（H30.10月時点 542名）。

(3) 市町村のがん検診受診率向上に向けた取組み

○節目検診・重点年齢検診推進事業

市町村の節目年齢検診（5歳毎）や女性のがん検診における重点年齢（乳がん：40代のうち節目を除く2回、子宮頸がん：20～30代のうち節目を除く4回）における受診料軽減を支援するもの。

②胃がん対策強化事業（重点年齢検診）

市町村の胃がん検診受診率向上のため、50歳代の受診（2回）に係る受診料軽減を支援するもの。

(4) 女性がんの予防・早期発見に向けた普及啓発

◎TOYAMA ピンクリボンフォーラムの開催

本県の乳がんに関しては、年齢調整罹患率^{※1}が全国に比べて高いことや、検診受診率^{※2}は全国に比して高いものの、県が策定した「富山県がん対策推進計画」の目標値（50％）に達していない状況にある。

※1：平成26年の罹患率（人口10万対）は、県95.6、全国82.9

※2：平成28年の乳がん検診受診率（国民生活基礎調査）：県40.1％、全国36.2

そこで、乳がんの早期発見・早期治療に向けて、県民が乳がんに関する正しい知識及び検診受診・視触診の重要性について理解を深め、県内の乳がん検診受診率向上を目指すためのフォーラムを開催した。

日時：平成30年9月30日（日）13:00～16:00（開場12:00）

場所：高岡文化ホール 小ホール・ホワイエ

参加者：県内のがん患者やその家族等 約150名

内容：①基調講演 「正しく知ろう、乳がんのこと～早期発見・早期治療の大切さ～」

福島 亘 氏（高岡市民病院外科主任部長（外科診療科長））

② 「女性にとって大切なブレストケア」

蔭浦 瑞希 氏（高岡市民病院 乳がん看護認定看護師）

③ 「私らしく生きる」

小池 真実子 氏（富山県がんピアサポーター）

④スペシャルトーク「乳がんと向き合う～自分らしく生きていくために～」

藤森 香衣 氏（モデル/NPO法人C-ribbons 代表理事）

⑤各種ブースの出展（患者会、検診センター、相談支援センター等）



○施設のピンクライトアップ

10月のピンクリボン月間に合わせて、県有施設等のピンクライトアップを実施

実施場所：富岩運河環水公園、県庁前公園、インテック本社ビル（株式会社インテックによる実施）



Ⅱ 質の高い医療の確保

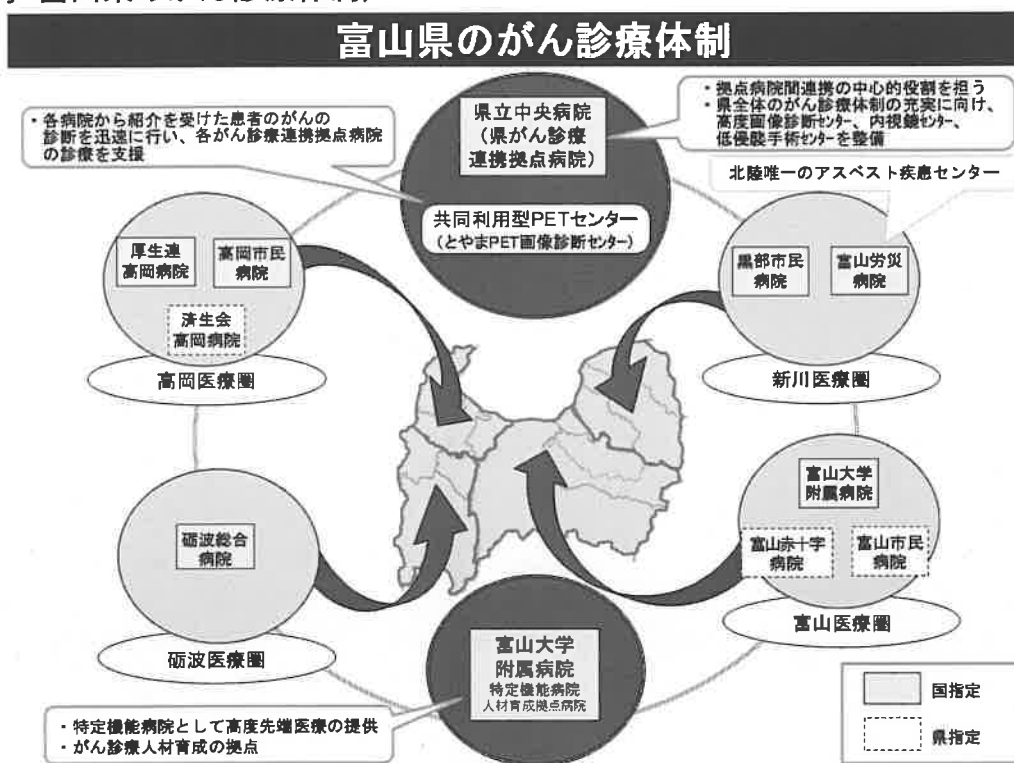
1. 質の高い医療が受けられる体制の充実

(1) 富山県のがん診療体制の強化

①本県では、医療圏毎の医療機関が連携して、限られた医療資源及び機能を相互補完している。すなわち、研修会の開催等の人材育成やがん情報の収集と発信等を始めとする患者支援体制の構築に複層的に取り組むことにより、県内の各病院の機能を“点”から“面”として機能させ、県全体のがん医療水準の向上を図っている。

②また、専門的な機能としては、県がん診療連携拠点病院である県立中央病院と特定機能病院の富山大学附属病院が、2次医療圏の地域がん診療連携拠点病院と連携し、難治性がん、特殊ながん、小児がん等の治療を対応し、富山労災病院はアスベストによる悪性中皮種等の診断を行なっている。

(参考 富山県のがん診療体制)



(2) がん医療を担う専門的な医療従事者の育成及び資質の向上

○がん専門分野における質の高い看護師を育成し、がん患者に対する看護ケアの充実を図るための「がん看護臨床実践研修」を実施。

※平成30年度は、県看護協会（県委託）により平成30年7月17日（火）～8月6日（月）までの15日間（土日を除く）で実施。拠点病院等のがん看護に従事している看護師21名が参加。

(3) がんゲノム医療・免疫療法を含めた最新の医療技術への対応

○本県唯一のがんゲノム医療連携病院である富山大学附属病院（県がん診療連携協議会研修部会 部会長病院）により、本県の拠点病院等の医療従事者を対象としたがんゲノム医療研修会*の開催や、また、平成30年9月22日（土）には、国立がん研究センター理事長 中釜 斉 氏を講師に招へいしたがんゲノム医療市民公開講座が開催された。

※平成30年5月～11月までに計4回開催



2. 調査・研究の推進

「がん登録等の推進に関する法律」に基づく「全国がん登録」*制度に関して、実務面での習熟度の向上や制度周知のため、病院等の実務担当者向けの講習会を開催した。

※全ての病院及び申請に基づき県知事が指定した診療所において、がん罹患等に関する届出が必要となる制度

○実務者講習会の開催について

- ①日 時：平成30年7月14日（土）
- ②場 所：富山県立中央病院 診療棟5階ホール
- ③講 師：福井県立病院 病理診断科主任医長 海崎 泰治 氏
（演題「全国がん登録について - 富山県の現状と課題」）
- ④出席者：66名（病院59名、診療所3名、その他4名）
- ⑤その他：県診療情報管理研究会との共催により開催

Ⅲ 患者支援体制の充実

1. がん患者の支援体制の充実

(1) 富山県がん総合相談支援センターの運営

設置：平成25年9月2日（委託：県社会福祉協議会）

趣旨：がん患者及びその家族からの医療、心理、生活・介護、就労などの様々な相談に対応するとともに、がんに関する様々な情報を提供する総合相談窓口として設置

業務：①相談／平日9時～16時 土13時～16時

②情報提供

③ピアサポーター養成・育成・活動支援

④患者等の交流支援 等

相談員：看護師3名により対応

相談時の様子
※看護師3名による相談対応



	H29年度（実績）	H30年度
相談	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 1,108件 看護の日「出前がん支援相談」 働く人の日曜相談会（2回） がん征圧月間に併せ、日曜相談（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> 相談対応 看護の日「出前相談」 働く人の日曜相談会（年2回） がん征圧月間に併せ、日曜相談（2回）
情報提供	図書 約380冊（雑誌含む） ※図書貸出 51冊 小冊子（約60種類 国立がん研究センター編） センターホームページ 随時更新 ポスター・チラシ配布（病院・自治体） がん情報とやま 改訂支援 ヘルスポランテニア等への講演 等	図書 約380冊（雑誌含む） ※図書貸出等 県立図書館企画展示 「県立図書館で調べる医療情報・闘病記」 ※がん総合相談支援センター活動紹介展示 がん情報とやま 改訂支援 ヘルスポランテニア等への講演 等
ピアサポーター 養成・育成 活動支援 ピアサポーター 目標60名 /5年間	<ul style="list-style-type: none"> 養成講座8回 修了者11名 活動登録者（H30.4月現在）73名 フォローアップ研修4回 受講者113名 ピアサポート活動 <ul style="list-style-type: none"> ①センター（交流サロン）：12回 ※参加者182名 ②拠点病院（患者サロン）：32回 黒部市民、県中、富大、厚生連高岡、砺波総合にて実施 ※参加者294名 ③がん教育での講師 （自らの体験と命の大切さを語る）等 ※富山市立東部小学校、県立高岡聴覚総合支援学校の2校で実施 ④グリーンケアの会：3回 がんで大切な人を亡くされた方の悲嘆、喪失感等の気持ちに寄り添い支援を実施（参加者28名） 	<ul style="list-style-type: none"> H30.7月～ピアサポーター養成講座開始 ピアサポーターフォローアップ研修（年4回） ピアサポート活動 <ul style="list-style-type: none"> ①センター（交流サロン）：12回 毎月第4土曜日 13:30～15:30 ②拠点病院（患者サロン）等 黒部市民、県中、富大、厚生連高岡、高岡市民、砺波総合、富山赤十字、厚生連滑川にて実施 ③がん教育での講師 ※富山市立速星中学校、富山市立杉原中学校、小矢部市立東部小学校予定 ④グリーンケアの会（6回開催） ⑤フォーラム等での講師 ※TOYAMA ピンクリボンフォーラム ※NHKフォーラムがんと生きる ※がん検診受診率向上出前セミナー ⑥健康づくりボランティア等への講演 （自らの体験やがん検診の必要性 等）
患者会 活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 随時（患者会代表者などが来訪） 小児がん講演会・交流会：参加者47名 	<ul style="list-style-type: none"> AYA世代 公開シンポジウム：H30.11.25（日） 講師：国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター長 堀部 敬三氏
他との連携	<ul style="list-style-type: none"> 拠点病院相談支援部会への参画 拠点病院相談員情報交換会開催 拠点病院相談員研修会に参画 国・県の労働関係部局との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点病院相談支援部会への参画 拠点病院相談員情報交換会開催 拠点病院相談員研修会に参画 国・県の労働関係部局との連携 県立図書館との連携

(2) がん診療連携拠点病院における相談支援等

○がんに関する相談実績（相談実施：10か所のがん診療連携拠点病院）

4,061件（平成29年度）

○出張相談窓口の設置（開設場所：県立中央病院、富山市立富山市民病院）

・ハローワーク富山の就労支援ナビゲーターによる治療をしながら就職を希望する患者に対する職業相談窓口の設置

(3) 公開シンポジウム「みんなで考えよう がんと生きるAYA世代」の開催

AYA世代（思春期世代と若年成人世代）のがんを理解するための関係者向けシンポジウムを開催した。

日時：平成30年11月25日（日）13:30～16:00（受付13:00～）

場所：富山県総合福祉会館（サンシップとやま）6階

主催：社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県がん総合相談支援センター（県委託事業）

参加者：がん患者ご本人やご家族、医療関係者等 50名

内容：①講演 「AYA世代のがん医療の現状と課題」

堀部 敬三 氏（国立病院機構 名古屋医療センター臨床研究センター長）

②パネルディスカッション「AYA世代のがん体験者として伝えたいこと」

コーディネーター：堀部 敬三 氏

パネリスト：AYA世代のがん体験者、小児がん患者の家族

③紹介コーナー

(1) 小児がん患者・家族の会

がんの子どもを守る会富山支部

ハッピーウイング



(2) AYA世代の患者会

若年性がん患者団体 STAND UP!!：全国組織



H30.11.25 公開シンポジウム 講演の様子

富山県がん対策推進計画 (2018 (平成30) 年度～2023年度) ロードマップ

- 本資料は、厚生労働省 第69回がん対策推進協議会(平成30年6月27日) 資料4『第3期がん対策推進基本計画の今後の進め方について』で示された国のロードマップを参考に作成したものです。
- ロードマップ中の「」は、富山県がん対策推進計画(以下、「計画」)における「個別施策」を示した。また、「」は、具体的取組みやその方針を示したもので、2018年度中に実施する(予定含む)取組みを記載し、また、計画中の取組みの基本方針により、2019年度以降における取組の方針を記載したものです。

1

富山県がん対策推進計画 ロードマップ

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	主な個別目標	
(施策の柱1) 予防の強化と早期発見の推進	(1)がんにかからない生活習慣の確立							
	①子どもの頃からの正しい知識の普及							
	②望ましい生活習慣の確立 ・禁煙や減塩、野菜(でんぷん質を除く)・果物の摂取などの、胃がんに関する効果的な予防法についての普及啓発						○食塩摂取量の減少※ : 男性8.0g、女性7.0g	
	胃がん予防に関するリーフレット作成	胃がん予防リーフレットを活用した効果的な予防法についての普及啓発						○野菜摂取量の増加※ : 350g
	③たばこ対策の充実、強化 ・企業・団体等と連携した喫煙の悪影響に関する普及啓発や禁煙希望者への支援 ・家庭(特に子ども)での受動喫煙の機会を減少させるための普及啓発						○成人の喫煙率減少※ : 男性21%、女性2%	
	「がん対策の推進に関する協定」締結企業と連携した禁煙キャンペーン	協定企業等と連携した喫煙の悪影響に関する普及啓発						○受動喫煙の機会減少※ : 行政0%、医療0%、 受動喫煙のない職場、 家庭0%
	禁煙治療に保険が使える県内医療機関を県健康課ホームページで紹介する等の禁煙希望者への支援							
	国の受動喫煙防止リーフレットを活用した普及啓発							
	④ウイルスや細菌など感染の予防 ・胃がんの発生病菌であるピロリ菌に関する理解促進						○胃がん罹患者の減少 : 減少する	
	胃がん予防に関するリーフレット作成	胃がん予防リーフレットを活用し、胃がん発生病菌であるピロリ菌に関する理解促進						※印の個別目標は、県健康増進計画に準じて目標期限は2022年度までに設定。

富山県がん対策推進計画 ロードマップ

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	主な個別目標
(施策の柱1) 予防の強化と早期発見の推進	(2) がんの早期発見体制の強化						
	① 検診受診率の向上 ・がん検診受診料負担の軽減のための節目年齢と重点年齢検診(30年度より重点年齢検診に胃がんを追加) ・職域における受診率向上に向けた取組みの推進						○(市町村)のがん検診受診率:50%以上 ○(市町村・職域を合わせた)がん検診受診率:50%以上
	重点年齢検診に胃がんを追加	節目年齢と重点年齢検診によるがん検診受診料負担の軽減等、市町村への支援					
	職域の受診率向上のための経営者向けセミナーの開催	働く世代の受診促進が図られるよう、中小企業等の事業主への普及啓発					
	② 効果的検診手法等の普及 ・乳がん検診と自己触診の重要性を合わせた普及啓発						○働く世代(40~64歳)の乳がん死亡率減少:減少する
	乳がんに関する正しい知識及び検診受診・視触診(セルフチェック)の重要性を理解するためのフォーラムの開催	乳がん検診に加えて自己触診の重要性も合わせた普及啓発					
ピンポン月間(10月)中の乳がん検診啓発活動							
③ 検診精度の向上							

3

富山県がん対策推進計画 ロードマップ

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	主な個別目標
(施策の柱2) 質の高い医療の確保	(1) 質の高い医療が受けられる体制の充実						
	① 富山県のがん診療体制の強化 ・拠点病院の機能継続・強化、県全体のがん医療水準の向上						○地域連携クリティカルパスの運用件数の増加:500件
	国指定拠点病院の指定要件見直しを踏まえた指定更新	県指定拠点病院の指定更新(未定)					
	拠点病院の機能継続・強化を支援し(運営費補助金の交付)、県全体のがん医療水準の向上						○がん医療関連チーム数の増加:100チーム
	拠点病院等で構成される県がん診療連携協議会における、拠点病院間や地域の医療機関との連携強化						
	② 手術療法、放射線療法、薬物療法、支持療法のさらなる充実とチーム医療の推進						○がん看護臨床実践研修の修了者数:340名 ○がん分野の認定看護師:増加する
	③ がん医療を担う専門的な医療従事者の育成及び資質の向上 ・がん看護臨床実践研修等による看護師の資質向上の推進						
	がん看護臨床実践研修の開催						○「がんゲノム医療中核拠点病院」と本県の拠点病院との連携構築・構築する
	④ がんゲノム医療・免疫療法を含めた最新の医療技術への対応 ・「がんゲノム医療中核拠点病院」と本県の拠点病院との連携によるがんゲノム医療の実践に向けた取組み推進						
	県がん診療連携協議会研修部会によるがんゲノム医療研修会の開催	本県のがんゲノム医療連携病院(連携病院)※とがんゲノム医療中核拠点病院(中核病院)との連携によるがんゲノム医療の実践に向けた取組み推進 ※2018年10月現在、本県でお連携病院である富山大附属が、中核病院である京都大学附属と連携している。					
⑤ がんと診断された時からの緩和ケアの推進						○高度先端医療、臨床研究及び治験の実施体制の充実:充実する	
(2) 調査・研究の推進							
① がん登録の推進							
② 臨床研究の推進							

4

富山県がん対策推進計画 ロードマップ

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	主な個別目標	
(施策の柱3) 患者支援体制の充実	(1)がん患者の支援体制の充実							
	①患者及びその家族の相談支援の充実							
	<ul style="list-style-type: none"> 県がん総合相談支援センターと関係機関との連携により、患者とその家族がより相談しやすい環境となるよう取組むことや、ピアサポーターの養成 						○県がん総合相談支援センター等における相談件数の増加:増加する	
	県がん総合相談支援センターや拠点病院の相談支援センターで構成される県がん診療連携協議会相談支援部会において、相互の情報共有を通じた相談員の資質向上							○ピアサポーター数の増加:155名
	ピアサポーターの養成							
	②在宅療養支援体制・地域緩和ケアの充実							
	③がん患者の活動支援							
	<ul style="list-style-type: none"> ピアサポートを推進するための研修や活動促進のためのフォローアップなど、がん患者や経験者との協働の推進 						○ピアサポーターによる患者サロン等の開催回数増加:増加する	
	ピアサポーターフォローアップ研修の開催							
	県がん総合相談支援センターや拠点病院の院内サロンでのピアサポート活動							
	④がんの教育・普及啓発							
	(2)働く世代やライフステージに応じたがん対策の充実							
	①がん患者の就労を含めた社会的な問題への対応							
②小児・AYA世代のがん対策								
<ul style="list-style-type: none"> 県がん総合相談支援センター等によるAYA世代への相談支援 						○AYA世代の多様なニーズに応じた相談支援の充実:充実する		
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">小児がん・AYA世代のがんを理解する関係者セミナーの開催</div> <div>県がん総合相談支援センター等による小児・AYA世代への相談支援</div> </div>						○拠点病院における「高齢のがん患者の意思決定の支援に関するガイドライン」の活用:全ての拠点病院		
③高齢者のがん対策								
<ul style="list-style-type: none"> 国で検討されている「高齢のがん患者の意思決定の支援に関する診療ガイドライン」の活用促進 								